



理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙 福井の名所探訪②⑥
一乗谷朝倉氏遺跡(福井市)
- P2 すこやか講座
「入浴について」
- P3 家族は今
「レビー小体型認知症の義母」
- P4 THE病棟
作品作成・連絡ノート・行事食
- P5 トピックス
北陸認知症プロフェッショナル医
養成プランとの連携
- P6 すこやか探検隊
新入職員紹介・絵画の寄付・講演会案内
- P8 研修案内

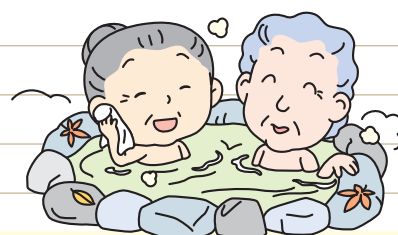


すこやか講座

今回は入浴について
ご紹介します

高齢者にとっての入浴は、身体の清潔を保つ以外にも多くのメリットがあります。38度くらいのお湯につかると副交感神経が優位になり、**リラックス効果が期待できる**といわれています。また、お湯の中で浮力が働くことによって、**関節痛などで動かしにくかった部分でも動かしやすくなります**。

高齢者にとってメリットの多い入浴ですが、認知症の方の介護の際には様々な注意点がありますのでご紹介します。



浴室にはどんな配慮が必要？

認知症の症状により、ボディシャンプーや石鹸を食べ物と勘違いして口に入れることもあるので、それが何であるかを解るように印をつけたり、いつもと同じ場所に置いたり、色を付けて区別するなどの工夫をしましょう。

また、滑りやすく転倒事故が起こりやすい所なので、床や浴槽内は滑り止めをし、浴槽の出入りのための手すりもつけると安心です。

入浴・シャワー時の注意とコツは？

湯の温度が分からずに熱湯や水を浴びてしまうことも考えられるので、温度設定や脱衣所の室温設定は介護者がしましょう。高齢者は熱い湯が刺激となり、身体的不調をきたす危険性があるのでお湯は若干ぬるめに設定するとよいです。入浴時、必ず本人に湯の温度を確認してもらってから入浴するとよいでしょう。入浴に使用するもの以外（洗剤など）は目の届かない所に保管しておきましょう。また、体力の消耗も大きいため入浴後は体に負担となることは避け、脱水にならないように水分補給も忘れないようにしましょう。

お風呂に入っても洗わずに出てきてしまう場合は？

自分でできるところはしてもらい、できない所を介助していきます。無理に介助しようとすると本人の自尊心を傷つけますので、焦らず今日は頭だけ、足だけ…というように徐々にできるようにしていくとよいでしょう。場合によっては湯船の中でタオルなどを使って体を洗うのも一つの方法です。

入浴を嫌がる場合は？

気分の良いときを見計らって入浴に誘ってみましょう。いつもと違う人に誘ってもらおうとあっさり承知することもあります。また、入浴を断られたら引き下がって、しばらくしてまた誘うと、今度は案外入る気になることもあります。昔、銭湯を利用されていた方には、洗面器と固形石鹸と手ぬぐい（タオル）をセットにして渡すと進んで入浴され身体を洗われることもあります。

入浴剤を入れて温泉気分にしたたり、入浴後に好きな飲み物や楽しみを用意してはいいかでしょうか。『楽しかった』という感情の記憶は残りますので、次も入ってもらいやすくなります。



家族は今…



「レビー小体型認知症の義母」

M.O

私が嫁いで来たのは、義母が今の私の年齢だった頃です。そして、次の年に娘を出産しました。あ那个时候の義母はとても元気でしたが、連れ添いを病気で亡くされた1年後の事だったので、私が嫁いで来た事をととても喜んでくださっていました。私を呼びつける時はきっと娘のつもりで、名前でも言ってくださいます。今でも…。

26年ほどの年月を振り返ってみると本当に大変だったと思えるのは、義母に比べるとまだまだ少ないのでしょうか。義母が嫁いで来られたのは19歳で、昭和21年の戦後間もない頃だったそうです。嫁入り道具すら買えない時代、農家に嫁ぎ、仕事をしながら3人の子育てや田んぼや畑仕事をしてとても大変だったと聞いておりました。また、お洗濯は手で洗い、水気は手で絞り、暖房も炭や薪で火を起す時代で、おしゃれなんかは嫁の立場ではなかなか難しかったのでしよう。

食事の後では、昔話を何度も何度も聞かせてくださいました。一番印象に残っている話では、「実家の兄嫁さんの食事が美味しかった」や「朝から白いご飯の炊きたてと温かい味噌汁がなつかしい」、「有難かった」と話されていました。それに比べ、冷や飯にたくあん漬物では喉を通らなかったことなど苦い思い出の事も話され、つらかった記憶も多かったようです。なかでも叔母姑さんがとても厳しかったそうで、いつも苦しい想いをしていたそうです。楽しい思い出が殆ど無く、里帰りですえ大変だったそうで、今のように自家用車があるはずもなく、電車とバスで実家へ行かれたそうです。

何が原因で義母がレビー小体型認知症になってしまったのか。確かに3～4年前から私のことをとても悪く言うようになったり、「殺される」とか「死にたくない」とか妄想のような言葉も聞かれました。

包括支援センターの職員さんの紹介ですこやかシルバー病院を知り、受診していろんな話を聞いていただいて、私と家族の役割など、どのように接したら良いのかご指導を受けました。本当にとことん困り果てた義母の暴力が収まらなくなったとき、入院させていただくことができたのです。ずーっと自宅介護のつもりだったのですが、3～4年くらいの大変さが増した頃は、家族がバラバラに壊れていくのかと思う時もありました。今では、この病院が自身の家と思っておられるようです。先生、職員の皆様や入院されていらっしゃるお友達に感謝しております。「お食事とても美味しいから何も持ってこなくていいよ」と義母は笑顔が増えてきました。有難うございました。

The 病棟



作品作成

患者様のご家族の方がボランティアで、節句の行事に合わせて材料を持ってきていただき、患者様と一緒に作成されました。

5月5日は「こどもの日」、こいのぼりがあがる季節ですね。ですので…

6月10日は「時の記念日」です。そんな記念日があったなんて驚きました。という事で…



40分ほど
かけて…

完成!!



完成を喜ばれ
記念に撮影しました

1つ1つ説明を聞き、色画用紙から材料を作り、切り貼りしてこいのぼりを作りました。作っていくうちに楽しくなってきたのか、会話も増え、笑顔もたくさん見られました。

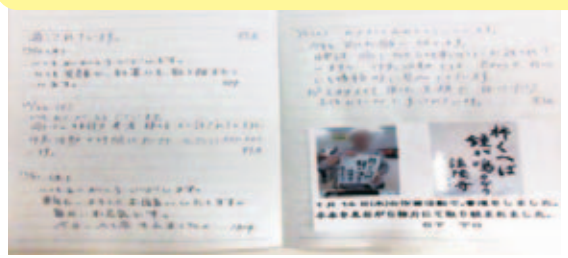
それぞれがデザインを考えて色画用紙を使い、時計を綺麗に模様づけしました。完成した時計に名前を書いたこともあり、後日「これ、私が作ったの」と話してくれました。



連絡ノート

当院ではスタッフと患者家族様との連絡手段の一つとして、連絡ノートの記載を行っています。患者様の体調の変化から日々の過ごし方まで患者家族様に知って頂きたい情報を記載しています。これからも、連絡ノートが患者様と家族様の架け橋となるよう、努めてまいります。

個別のレターボックスにて管理し、患者家族様の面会時などに目を通していただき、スタッフが記載するだけでなく、患者家族様の気になった事もあれば記載していただいています。



6月のイベント食 父の日献立

■ 平成28年6月17日(金)実施 ■



Fathers Day



献立

- 枝豆ご飯
- 牛すじの煮込み
- 豆腐と旬野菜の揚げ出し
- ポテトサラダ
- 梅素麺

今年度は、第三日曜日の「父の日」をテーマに献立を考えました。主菜の「牛すじ」は常菜でも柔らかくなり、軟菜や刻み菜にもひと工夫を加え、噛む力が弱くなった方でも食べやすい牛すじに仕上がりました。

トピックス

北陸認知症プロフェッショナル医 養成プラン(認プロ)との連携

認知症専門医は北陸を含め全国的に非常に不足した状況にある中で、平成26年度から文部科学省の採択事業として『北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン』がスタートしています。認知症医療の最先端の知識・診療技能、地域における多職種連携力、未来の認知症医療・予防を創造する研究力等を備えた真の認知症プロフェッショナル医師を養成するためのプログラムで、具体的には北陸の医科系4大学(金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学)が拠点ネットワークを形成し、地域医療機関や自治体等の協力を得て取り組んでいます。

この事業に、当院は、地域における認知症診療や認知症の臨床病理等の習得等を目的とする地域医療機関として連携(福井県内では当院のみ)、テレビ会議システムを使用したデメンシアカンファレンス(毎月)等に参加し、認知症対策の担い手育成に役割を果たすとともに、最先端の知識・診療技能等を情報収集、当院の診療の質の向上に努めています。



すこやか探検隊

はじめまして!!



新入職員紹介



西病棟 看護師
山口 泰宏

皆さんはじめまして。今年の1月より看護師として勤務させていただいています、山口泰宏と言います。認知症に特化した病院で、より認知症について学びエキスパートを目指していきたくて考えて当院に就職しました。

病棟に勤務して数か月、改めて認知症看護の難しさと楽しさを実感しています。患者様により良いケアをと、考えて考えて出した答えを実践しても、うまくいかないこともうまくいくこともあり試行錯誤の繰り返しです。

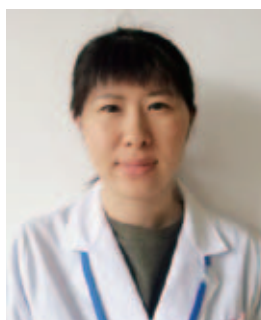
そんな難しさもありますが、患者様一人一人の笑顔を見るとすべてを吹き飛ばして頑張ろうと思います。認知症を患ったから「辛い」、「大変」ではなく、患者様や家族様、スタッフが笑顔になれるそんな看護を提供していけるよう頑張りますのでこれからもよろしくお願いします。

私は、4月から看護師として病棟で仕事に就かせていただいています。現在の日本は4人に1人は65歳以上の超高齢社会となっています。という事は、必然的に認知症は身近な病気になってきています。患者様が笑顔でいられる時間が少しでも多くなれるように、ケアの方法を日々考え家族と情報を共有していき、認知症専門病院の看護師として専門職という自覚を持ち、患者様やその家族一人一人に向き合っていきたいです。

また、患者様が今まで何を大事にして生きてきたのか、どのような人生を歩んできたのかを考え、認知症になってもその人がその人らしく生きていけるよう、患者様の尊厳を尊重した看護ができるよう頑張っていきますので、宜しくお願いします。



東病棟 看護師
清水 宏隆



臨床心理士
平木 聡深

福井県福井市にて生まれ育ちました。趣味は長風呂、料理番組を観ること、気分転換で筋トレやヨガをしています。以前は、高齢者福祉施設にて入所者の心のケア、職員のメンタルヘルスに携わっていました。認知症の方や高齢者のことを更に知りたい、更に勉強したいと思い、3月からすこやかシルバー病院で働かせていただいております。

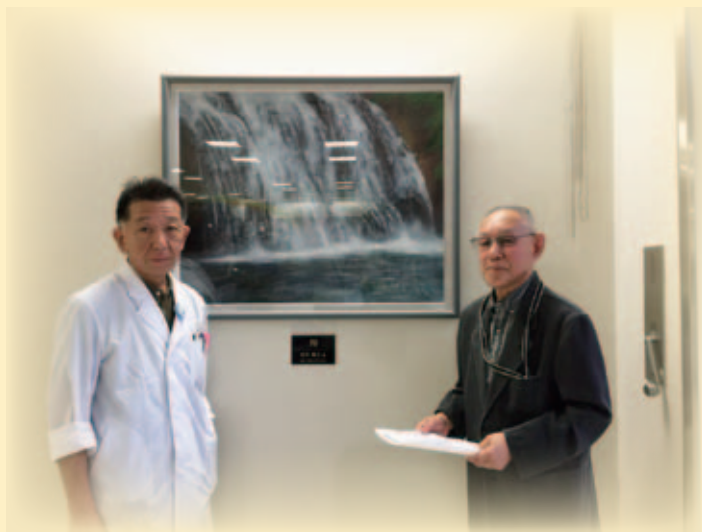
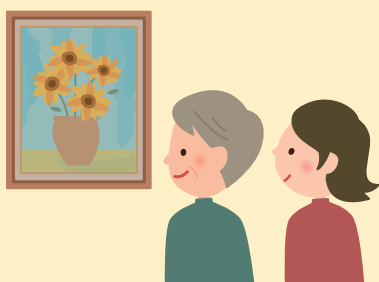
当院では、臨床心理士は記憶力や、物事を手順どおりにする能力（遂行機能）、話す・聞く・書く・読む能力（言語機能）、パーソナリティなどに関する検査を担当しています。未熟者で多くのことを学ばせていただいている途中ですが、当院にいらっしゃる患者様や、そのご家族が充実した生活を送れるよう少しでも力になればと思います。どうぞ宜しくお願いします。

絵画を寄付していただきました

この度、福井市にお住いの洋画家 坂井敏之氏より、絵画を寄付していただきました。

寄付していただいた絵画は油絵（30号）で滝が勢いよく流れる様が描かれており、ダイナミックかつ清涼感あふれる作品です。当院の待合ホールに展示させていただき、患者様の療養環境の改善のために活用させていただきます。

当院へお越しの際には、ぜひご覧になってください。



講演会のご案内

入場無料

※事前申込をお願いいたします

申し込み方法

- ①はがき……氏名、電話番号を記入し、
『講演会申込』と明記の上
〒910-3623 福井市島寺町93-6
福井県立すこやかシルバー病院
までお送りください
- ②FAX……氏名、電話番号を記入し、
『講演会申込』と明記の上
FAX 0776-98-2793
までお送りください
- ③電話……TEL 0776-98-2700

福井県立すこやかシルバー病院講演会

認知症高齢者の 自動車運転を考える

認知症高齢者の安全と安心のために

平成28年
10月1日(土)
14:00~16:00

会場 福井県生活学習館
(ユニー・アイふくい)
多目的ホール

講師 国立研究開発法人国立高齢者総合研究センター
高齢政策研究部部長
荒井 由美子氏 (講師・医学博士)

主 催 (一財)認知症高齢者医療介護教育センター
福井県立すこやかシルバー病院 福井市島寺町93-6
TEL 0776 (98) 2700

後 援 福井すこやかたろう会・福井新聞社・FBC福井放送・福井テレビ・FM福井

※参加申込案内・会場地図は裏面に記載してあります ※講演要旨はホームページでもご覧いただけます <http://www.fukui-sukoyaka-silver.or.jp/>

入場無料
事前申し込みを
お願いいたします



平成28年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症を予防しよう！	9月20日(火)	13時30分～15時	●心も体も元気に、健康に	下口さゆり作業療法士	50名
認知症の基礎知識	9月27日(火)	13時30分～15時	●認知症の原因疾患、症状、治療 ●認知症診断に必要な情報	村田憲治医師	50名
認知症の基礎知識と介護のポイント	10月11日(火)	13時30分～15時	●認知症の症状 ●認知症高齢者への介護のポイント	西村信子看護師	50名
レビー小体型認知症の方の介護	11月8日(火)	13時30分～15時	●レビー小体型認知症の症状 ●介護のポイント	増田直代看護師長	50名
認知症の方の食事、排泄援助	11月11日(金)	13時30分～15時	●食事摂取困難な状況と介護 ●排泄時の援助	辻真彰副看護師長	50名
認知症に関する制度と相談窓口	12月2日(金)	13時30分～15時	●介護保険制度について ●困った時の相談窓口	谷口久良精神保健福祉士	50名

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症ケア現場における高齢者虐待防止	8月25日(木)	13時30分～16時30分	●認知症高齢者への虐待被害に関して、未然防止の観点から関わるべき要点	東北福祉大学総合福祉学部講師 吉川悠貴氏	70名
認知症の方とのコミュニケーション	8月26日(金)	12時～15時	●認知症の方の特徴、心理状態、認知症の方とのコミュニケーションのポイント	東北福祉大学総合福祉学部講師 吉川悠貴氏	70名
レビー小体型認知症の高齢者の体験世界	8月30日(火)	13時20分～16時20分	●レビー小体型認知症の高齢者の生活上の困難な体験と思い	兵庫県立大学看護学部看護学科助教 加藤泰子氏	70名
介護職員のメンタルヘルス	9月2日(金)	13時30分～16時	●介護職員のストレスを予防・低減するための方法	新潟青陵大学短期大学部人間総合学科准教授 柳澤利之氏	70名
認知症高齢者の入浴困難に対する援助	9月6日(火)	13時30分～16時30分	●認知症高齢者の入浴困難に対する援助法	元石川県立看護大学看護学部教授 高山成子氏	70名
介護職 研究発表セミナー(2日間)	9月7日(火) 11月2日(火)	13時～16時	●研究とは何か、研究プロセス、方法論 ●研究計画の立案	認知症介護研究・研修大府センター研究部研究主幹 伊藤美智子氏	50名
認知症と類似した疾患の区別と対応方法	9月10日(土)	13時20分～16時20分	●認知症と類似した疾患の類似点、相違点、ケア	仁明会精神衛生研究所副所長 大塚恒子氏	70名
中等度・重度認知症高齢者の自己決定の機会提供	9月13日(火)	13時20分～16時20分	●中等度・重度認知症高齢者の日常生活行動の自己決定を支える援助	県立広島大学保健福祉学部助教 渡辺陽子氏	70名
認知症の方とのコミュニケーション	9月16日(金)	13時30分～15時40分	●認知症の方の特徴、心理状態、認知症の方とのコミュニケーションのポイント	金城大学看護学部講師 久米真代氏	70名
認知症高齢者の徘徊、収集に対する援助	10月7日(金)	13時30分～16時30分	●認知症高齢者の徘徊、収集に対する援助法	元石川県立看護大学看護学部教授 高山成子氏	70名
高齢者の世界を体験しよう ※午前、午後のみ参加可	10月14日(金)	10時30分～16時50分	●高齢者の特徴と合併症 ●高齢者疑似体験(演習)	河合明泰 認知症看護認定看護師	50名
アルツハイマー型認知症の症状とケア	10月18日(火)	13時30分～16時40分	●アルツハイマー型認知症の症状とケア ●事例検討	河合明泰 認知症看護認定看護師	50名
認知症高齢者が安心できる環境づくり	10月21日(金)	13時30分～16時30分	●認知症高齢者が安心できるケア環境づくり	日本社会事業大学名誉教授 児玉桂子氏	50名
MMSEについて	10月24日(月)	13時30分～15時	●MMSE(ミニメンタルステート検査)の使用目的、特徴	伊藤達彦院長	70名
認知症の基礎知識	11月1日(火)	13時30分～16時40分	●認知症の基礎知識、ケアの理解 ●事例検討	和田敏道 認知症看護認定看護師	50名
高齢者の排泄援助とスキンケア	11月4日(金)	13時30分～16時30分	●高齢者の排泄援助とスキンケア ●認知症高齢者の排泄援助の実践	皮膚排泄ケア認定看護師 山口静氏 谷本千恵子介護福祉士	50名
脳の機能と認知症	11月15日(火)	13時30分～15時30分	●脳の各部位の役割、認知症の原因疾患により機能低下しやすい脳の部位と症状	村田憲治医師	70名
認知症カフェ心愛の取り組み	11月18日(金)	13時30分～15時	●認知症カフェの立ち上げについて ●認知症カフェの運営について	高嶋康子看護部長	50名
高齢者の口腔ケア	11月22日(火)	14時～16時20分	●高齢者の口腔ケア ●認知症高齢者の口腔ケアの実践	宮本美紀子歯科衛生士 中谷正太郎介護福祉士	50名
認知症高齢者の作業療法	11月25日(金)	13時30分～15時	●認知症高齢者の作業療法 ●演習	内藤明美作業療法士	50名
精神症状への対応	11月29日(火)	14時～17時15分	●精神症状に対する具体的な対応	精神看護専門看護師 山口達也氏	70名

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700